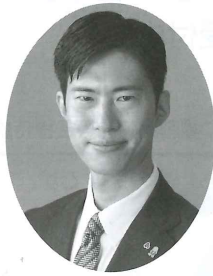


薬連ハイライム

「^{かみや}神谷まさゆき」SNS活動開始!



日本薬剤師連盟「神谷まさゆき」副会長のホームページとFacebookページが7月16日にスタートしました。

ホームページでは「神谷の約束」として10の政治信条を掲げると共にプロフィール

ルや活動日誌などが掲載されています。

また、Facebookページ「薬剤師『神谷まさゆき』の活動日誌」には、日々の活動報告があげられています。現在は、新型コロナウイルス感染症拡大により活動が制限される中、ウェブによるご挨拶に切り替えているので、会員の皆様に親しく接する機会が少なくなっています。是非、下記コードよりアクセスして「神谷まさゆき」の政治活動への応援をお願い申し上げます。



神谷まさゆきホームページ



Facebookページ
薬剤師「神谷まさゆき」の活動日誌



メールマガジン登録フォーム

もとゆき便り

来年度予算の概算要求に向けて

自由民主党務調査会会長代理
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき



新型コロナウイルスの新規感染者は、全国で連日1,000人を超えるなど増加している状況にあります。感染の拡大防止と社会経済活動の回復を両立させるためには、3密を避けるなど国民一人一人が新たな生活様式に取り組むことが、改めて求められています。

さて、来年度予算の概算要求の提出は9月30日とされ、例年より一月遅れとなっています。財務省は、概算要求の段階では予算額を決めず、基本的に要求額は対前年度同額とし、新型コロナウイルス感染症への対応等の緊急な経費については、別途要望することができるとしています。また、年金・医療等の高齢化に伴う経費の自然増、社会保障の充実等の平年度化に伴う増加分の取扱いについては、予算編成過程で検討する等、その手続をできる限り簡素なものとするとしています。

7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020（いわゆる、骨太の方針2020）」においても、「令和3年度概算要求の仕組みや手続をできる限り簡素なものとする」と歩調を合わせ、記載内容を絞り込み、今後の政策対応の大きな方向性に重点を置いたものとしている。」と前置きされています。

薬局経営への財政支援など、日本薬剤師会の来年度予算の要望事項の実現に努めて参りたいと思います。

オレンジ日記

令和2年7月豪雨

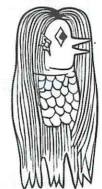
自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長
参議院議員・薬剤師 本田 顕子



7月4日、九州南部を中心に豪雨災害が発生し、その後、九州北部、中国地方へと拡大しました。私もちょうど地元熊本県に戻っている時でしたので、熊本県と熊本県薬剤師会の災害対策本部に入り、医療の部分に目を配りました。災害薬事コーディネーターが積極的に貢献されていたことはとても素晴らしい取り組みだと思いました。その後、参議院自民党の視察で人吉市・球磨村に入りましたが、災害医療も多様化してきていると感じました。

DMAT隊の活動について触れてみますと、厚生労働省のHPではDMATについて「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義され、医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成されるとしています。今回の豪雨で被害が大きかった熊本県球磨村では道路の寸断により、陸の孤島が多数発生しました。負傷者は少ないけれども、全ての所有物が水で流されている状態で通常の医療をいかに繋ぐかが優先となりました。48時間～72時間の命を繋ぐ活動から平時医療もカバーすることが今後想定されるのではないかと私は感じました。

現在のDMATの定義では薬剤師は“業務調整員”の解釈で、必要に応じて適宜チームに入りますが、多様化する活動の中で明確に参加できる仕組みづくりについて政策提案につとめていきたいと思っています。



アマビエ